

## 指定管理者による公の施設の管理状況評価（平成30年度分）

施設	名称	栃木市出流ふれあいの森
	所在地	栃木市出流町417
	施設内容	森林総合利用施設
指定管理者	名称	みかも森林組合
	所在地	佐野市戸室町685-1
	主な業務内容	組合員の為の林業指導、支援等

## (1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み

評価要素	①	施設の設置目的や特性に基づいた施設運営の基本方針が明文化され、職員が適切に理解しているか
	②	施設予約や利用方法等について、市民の誰もが利用しやすい利便性と平等性確保の配慮がなされているか
	③	アンケート調査等により、利用者等の意見を把握し、運営に反映させる取組みを行っているか
	④	利用者等からの苦情や意見などに対し、適切な取組みを行っているか

管理状況評価指標	指標名	計画値	実績値
	パンフレット設置場所	5箇所	栃木、佐野、小山道の駅
	第3日曜日、家庭の日の参加（スベリ台マット無料）	300	300
	利用スタンプカードの配布（指定管理2施設）	960	配布中止
	従業員教育	3回	年12回（毎月末）

評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	25	Ⅱ	0.8	20	Ⅲ	0.6	15

指定管理者コメント	<p>①森林の持つ多目的機能により、成り立つ栃木市唯一の森林公園の維持、保全に当たり、その目的を雇用時に説明している。</p> <p>②市民、他県民、減免対象者の利用も平等に対応しています。</p> <p>③アンケートの結果により、職員間に対応できるものは、ただちに対応しています。また栃木市へは随時報告しています。</p> <p>④昨年は大きなトラブルはありませんでした。キャンプの期間延長の声が多いですが、条例で開園期間は決めてあります、と説明しています。</p>
-----------	--

施設所管課コメント	<p>【評価要素】①：施設の設置目的や特性については、従業員教育を通じて理解の促進が図られている。②：施設予約は電話受付にて行っており、利用承認・使用料の決定は平等に行われている。③：管理棟にアンケート回収箱を設置しており、比較的容易に対応できるものについては対応し、予算等の措置を伴うものについては適宜農林整備課と協議を行っている。④：平成30年度において大きな苦情はない。</p> <p>【管理状況評価指標】利用スタンプカードについてはサービス向上のみならずリピータ獲得に効果が認められる取組である。現在は、既発行スタンプカードへの押印サービスは継続されているが、新規カードの配布サービスについても、再開されることが望ましい。</p>
-----------	---

(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み						
評価要素	①	施設の設置目的に基づいた事業計画通りに管理運営をしているか				
	②	広報活動等（広報紙、ケーブルTV、ホームページ、SNS等）による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか				
	③	開館時間の延長及び新規事業等による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか				
	④	地域住民や関係団体等との連携や協働による事業等、利用者や地域住民の満足度を高める取組みを行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	地元観光会のイベント参加			3回	協賛年4回	
	そば打ち教室の開催			6回	年7回（56名）	
	木工教室			1回	2回林業振興会と協賛	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅱ	0.8
指定管理者コメント	<p>①繁盛期の天気に恵まれ、ほぼ計画通りの数字を確保しました。</p> <p>②昨年に引き続き、平日利用の促進の為、高齢者施設を訪問し、車イス対応の公園として、利用者の増加に努めた。組合のホームページも開設しました。</p> <p>③7、8月の間、休まず営業し、平日のキャンプ利用者は増加しました。対する費用も増加し、ほぼ計画どおりの数字でした。</p> <p>④地元観光協会との連携により、観光会主催にイベントに従業員を派遣し、会場の場所の提供もしています。また緑地管理、宿直と地元からの雇用で対応してきましたが、高齢化により困難を極めている状態です。</p>					
施設所管課コメント	<p>【評価要素】①：施設利用料収入は概ね年度計画額と同額であり、事業計画どおりの管理運営といえる。②：森林組合のホームページ内のページ開設により、施設の周知が図られた。③キャンプ場及びバーベキュー広場の利用可能期間（4月～それぞれ10月、11月）の延長は困難であるが、7月、8月の繁忙期を休まず開館することで、昨今のキャンプブームによる新規利用者を取り込んでいる。④地元観光協会との連携が認められる。また、緑地管理及び宿直については、地元住民の高齢化に伴う雇用の困難を理由に、森林組合による緑地管理や地元以外からの雇用により行っているが、可能な限り地元での雇用に努めるとともに、地域との連携を強化されたい。</p> <p>【管理状況評価指標】そば打ち教室の開催については、新規利用者の獲得に向け有効と考えられるので、積極的に行っていただきたい。</p>					

(3) 施設経費の削減の取組み						
評価要素	①	指定管理料、利用料金等の収支手続について、適切で透明性の高い管理をしているか				
	②	サービスの質を確保した経費削減の取組みを行っているか				
	③	清掃、警備、保守点検など、業務の一部委託等をする場合、複数業者からの見積合わせなど、経費削減等に考慮して適切に行っているか				
	④	施設、備品等の管理について、適切に維持管理し、省エネ、省資源、環境配慮物品の購入など環境への配慮を適切に行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	保守点検等の複数年委託			4件	0件	
	電球のLEDへの交換			5個	管理棟全て	
	節電、節水への取組（掲示）			10箇所	10箇所	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	15	Ⅱ	0.8	12	Ⅲ	0.6
指定管理者コメント	<p>①利用料金は予約時に説明し、受付時に徴収しています。専用通帳で管理しています。</p> <p>②平日と土、日のシフト制を採用し、夏休みは本所から応援で対応し、サービスの低下は無いと思います。</p> <p>③同一業者と長く委託して問題もあるが、遠隔地のため、警備は中継所を設ける必要があり、高いものになっています。また浄化槽管理、清掃も近隣で対応でき、見積徴収に応じる業者もなく、今後の検討課題です。</p> <p>④建物の補修は随時、可能な限り交換補修を実施しています。上水道の導入により関連費用も大きく削減しました。またゴミの分別の徹底により、途中の不法投棄もほぼ無くなりました。</p>					
施設所管課コメント	<p>【評価要素】①：利用料金は、受付時に現金で徴収し、その後、指定管理料及び食堂売上等の他の収入金と併せて指定管理用口座に預入し、それぞれ収入金の整理票を用いて管理している。</p> <p>②：緑地管理経費について、地元からの雇用では十分な効果を得ることができないとの判断から、直営（森林組合林業担当職員による作業）に切り替え、費用対効果の向上を図った。</p> <p>③：隔地であることから、業務を発注する際に競合可能な事業者は限定される。</p> <p>④：キャンプ場、コテージ利用者に対し、受付時にゴミの分別に関するチラシを交付し、環境への配慮が認められる。また、施設内のごみ集積場も適切に管理されている。</p> <p>【管理状況評価指標】保守点検等の複数年委託については、複数年契約とすることによる委託費の圧縮幅を見極めた上で、できる限り取り組んでもらいたい。</p>					

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み						
評価要素	① 施設の適正管理に必要な職員の配置及び管理運営体制が確保されているか					
	② 職員の望ましい勤務形態及び育成指導、研修等が十分に確保されているか					
	③ 職員の福利厚生は充実しているか					
	④ 各種税金や社会保険料等は適切に納められているか					
	⑤ 団体の財政状況等は健全であるか <別紙参照>					
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	従業員の研修会（コンプライアンス、個人情報、防火）			3回（年）	4回（年）	
	食の安全指導			2回（年）	2回（年）	
	研修会参加人数			16名	24名	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	I	1.0	20	I	1.0
指定管理者コメント	<p>①地元職員で対応してきましたが、専任職員以外遠方からの通勤者でコスト高になっています。</p> <p>②月末の会議、食品衛生講習、避難訓練を実施し、研修として他の指定管理者施設へ派遣し、相互研修を実施しています。</p> <p>③適切に納入しています。</p> <p>④林業界は厳しが、毎年利益を計上しています。</p>					
施設所管課コメント	<p>【評価要素】①：常勤の総括責任者1名及び4名のパート職員の計5名を雇用し、来場者の多い週末には4名、平日は3名を配置し、繁忙期にはみかも森林組合のその他の職員の応援により補充。②：OJTを基本としたうえで、毎月末の事務打合せ時に情報・認識の共有を図っている。③：みかも森林組合の産業医による健康相談等を実施。④：適切に納入されている。⑤：経常収支比率101.02%。【管理状況評価指標】経常収支比率は100を超えるものの、林業界全体の置かれている状況は厳しく、今後、指導・販売・森林整備による増収は困難を伴う。そこで、指定管理事業について経費の削減を図るとともに、新規利用者の獲得のための取組みを実施し、みかも森林組合全体の増益を図りたい。</p>					

(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み						
評価要素	①	日常の安全点検及び法定点検等の安全対策を行っているか				
	②	緊急時の危機管理体制等が確立されているか				
	③	避難訓練や防災訓練を適切に行っているか				
	④	具体的な個人情報保護対策を行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	防災訓練			2回（年）	2回（年）	
	危機管理マニュアル研修			2回（年）	1回（年）	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	I	1.0	20	I	1.0
指定管理者コメント	<p>①施設の巡回は、毎日目視で実施しています。また遊具の点検は前期中心に年4回実施し、事故の発生を防いでいます。</p> <p>②緊急連絡網で対応し、年1回訓練を実施しています。</p> <p>③年2回実施しています。</p> <p>④宿泊者名簿は金庫で保管し、個人情報の管理に努めています。</p>					
施設所管課コメント	<p>【評価要素】①：施設の老朽化に伴い、安全対策がより一層重要となってくるが、日常安全点検（遊具のがたつき・倒木の有無・火の始末等）に加え、ローラーすべり台等遊具については年4回の定期点検（業務委託）により、適切な対策がなされている。②：危機発生時における組織体系は確立されている。③：年2回実施。④：利用者の個人情報は、主に宿泊者名簿に記載され、金庫にて保管・管理されている。</p>					

評価結果	配点	第1次評価点 (指定管理者評価)	第2次評価点 (施設所管課評価)
(1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み	25	20	15
(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み	20	16	16
(3) 施設経費の削減の取組み	15	12	9
(4) 施設の管理を安定して行うための取組み	20	20	20
(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み	20	20	20
評価点合計	100	88	80
総合評価		A	A

第3次評価（選定委員会評価）				
評価	第2次評価点	選定委員会評価点	第3次評価点	第3次総合評価
選定委員会コメント				



## (4) 施設の管理を安定して行うための取組み

《 別紙 》

## ⑤ 団体の財政状況等は健全であるか

直近3カ年の情報を記入してください。

決算年次	29年3月	30年3月	31年3月
資産総額	513,184,108	470,280,804	440,557,860
売上高	325,432,501	332,698,632	321,774,329
経常利益	10,761,694	885,491	3,720,921
当期利益	8,911,031	359,491	2,993,558
経常収支比率	103.41%	100.26%	101.17%

## ※ 経常収支比率について

本指標は、会社の資金繰りの実態を示す指標です。

この数値が100%未満であると銀行借入などをしなければ営業活動ができなくなるといわれているものであり、経常損失が生じていることを意味します。

決算年次	29年3月	30年3月	31年3月
経常費用	315,351,634	333,204,836	318,515,584
経常収益	326,113,328	334,064,327	322,236,505
経常収支比率	103.41%	100.26%	101.17%

○経常収益（営業収益＋営業外収益）÷経常費用（営業費用＋営業外費用）×100で求めます。

## 指定管理者コメント

林業団体を取り巻く状況は、木材市況の低迷、林業労働者の減少、高齢化により、当組合の経営も厳しいものがあります。しかしながら県南地区唯一の林業団体として、莫大な面積の森林を守り、各種補助事業を導入し組合員への利益還元に努めてします。平成20年度から黒字経営を継続しています。